

ビーキャスト B-CASカードの挿入

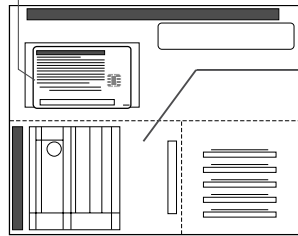
- カードの説明書に記載の文面をよくお読みの上必ず挿入してください。
- B-CASカードを挿入しないとデジタル放送が視聴できません。
- 「使用許諾契約約款」をよくお読みください。

BS/地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、2004年4月から原則として1回だけ録画可能のコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。

■ B-CASカードについて

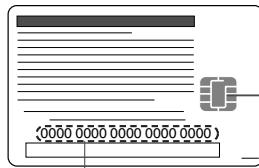
B-CASカード(添付)

- デジタル放送の視聴のために必要なカードです。



ユーザー登録はがき

- はがきまたはWebでユーザー登録をしてください。(登録は無料です)



B-CASカード IC (集積回路)

B-CASカード番号

- 有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。裏表紙の「便利メモ」に記入しておいてください。

■ B-CASカード取り扱い上の留意点

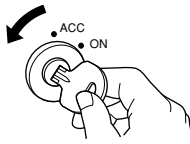
- 折り曲げたり、変形させない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手でさわらない。
- IC(集積回路)部には手をふれない。
- 分解加工は行わない。

■ B-CASカードについてのお問い合わせは

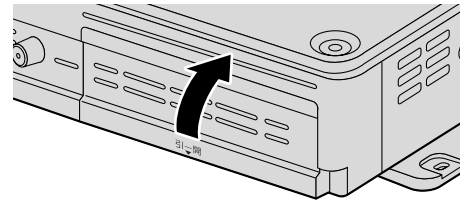
(株)ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-250

- カードの不具合と確認された場合は、お客様よりカスタマーセンターにお問い合わせ下さい。修理センターなどでカード交換を行なった際発生した作業工賃などの費用は、お客様のご負担となります。

1 エンジンを切り、ACCオフにする

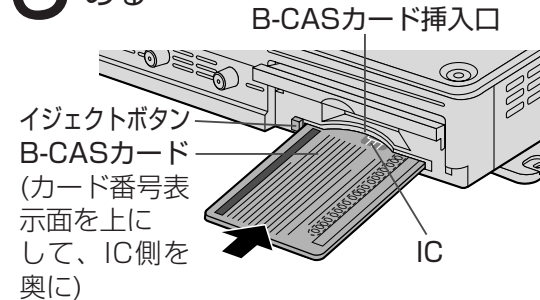


2 前面の扉を開ける



「▼」部の下の面を持ち上げます。

3 B-CASカードを挿入し、扉を閉める



- B-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
- ご使用中は抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

■ B-CASカードのテストをするときは (☎ 42ページ)

■ B-CASカードを抜くとき

- ➔(1) エンジンを切る。(ACCオフ)
- (2) イジェクトボタンを押し、ゆっくりとB-CASカードを抜く。

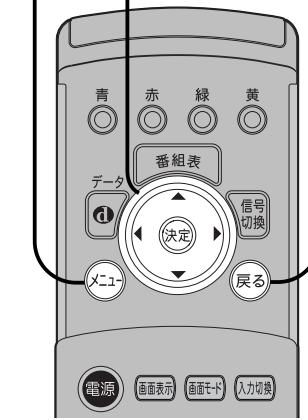
- B-CASカードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。(☎ 76ページ)

- B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、B-CASカードテストを行ってください。(☎ 42ページ)

メニュー画面の操作と項目

選択/決定ボタン

メニュー 戻る



スライド扉を開く

●を押すと下記メニュー画面が出ます。画面で確認しながら設定や放送メールなどの情報を見ることができます。



押して「情報/メール」「システム設定」を選ぶ



押して見たい情報や設定したい項目を選び ●を押す

1つ前の画面に戻るときは ●を押す

情報/メール	
放送局一覧	現在登録されている地上デジタル放送の放送局を一覧で表示(☎ 40、41ページ)
アンテナレベル	受信しているアンテナのレベルを表示(☎ 40、41ページ)
放送メール	放送局からのお知らせメールを表示(☎ 42ページ)
B-CASカード	B-CASカードの番号の表示とカードのテスト(☎ 42ページ)
ボード	110度CSデジタル放送から送られる情報を表示(☎ 43ページ)
ID表示	本機に関する情報を表示(☎ 43ページ)

■ 「情報/メール」メニュー

システム設定	
1 チャンネル設定	地上デジタル放送のチャンネルを設定(☎ 24、25ページ)
視聴制限設定	視聴できる年齢を制限(☎ 32、33ページ)
受信設定	アンテナの受信状況を確認する(☎ 34、35ページ)
地域設定	データ放送で地域情報を受信するための設定(☎ 36、37ページ)
接続テレビ設定	接続するテレビに合わせて設定(☎ 29~31ページ)
デジタル音声設定	デジタル音声出力の設定(☎ 38、39ページ)
かんたん設置設定	かんたん設置設定をやり直す(☎ 23ページ)
設定リセット	設定を工場出荷状態に戻す(☎ 36ページ)

■ 「システム設定」メニュー

確認